

2019年3月期第3四半期 決算補足資料

2019年2月8日



(東証二部 9857)

連結決算概要	・・・ P.3
品目別売上高	・・・ P.4
業界別売上高	・・・ P.5
連結貸借対照表	・・・ P.6
連結業績推移	・・・ P.7

(単位:百万円)	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	増減額	前年 同四半期比	2019年3月期 業績見通し
売上高	23,135	25,873	+ 2,737	+ 11.8%	35,500
営業利益	523	894	+ 370	+ 70.9%	1,200
経常利益	611	955	+ 344	+ 56.3%	1,200
親会社株主に帰属する 四半期純利益	356	613	+ 256	+ 71.9%	755

決算の概況

- 社会インフラ設備への公共事業投資や高水準な企業収益による設備投資案件を取込み、官公庁、化学品製造業、機械製造業、舶用機器製造業、電力会社を中心に引続き販売は好調に推移し、前年同四半期比増収増益となりました。

(注) 本資料中の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

品目別売上高

(単位:百万円)	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	前年 同四半期比	構成比
工業用計測 制御機器	11,276	12,473	+ 10.6%	48.2%
環境計測・ 分析機器	1,831	2,154	+ 17.6%	8.3%
測定・検査機器	1,339	1,640	+ 22.5%	6.4%
産業機械	8,687	9,604	+ 10.6%	37.1%
合計	23,135	25,873	+ 11.8%	100.0%

増減要因

◆ 工業用計測制御機器

機械製造業、船用機器製造業向けで各種センサーの販売が増加した他、生産設備の遠隔監視、安全対策、老朽化対策に伴う機器の更新需要を取込み、化学品製造業、鉄鋼製品製造業向けを中心に各種プロセス計測制御機器や情報通信機器の販売が引続き堅調に推移しました。

◆ 環境計測・分析機器

機械製造業向け振動分析計の販売が増加した他、社会インフラ市場の老朽化対策や民間企業での定期修理に伴う水質・大気・ガス分析計等の設備更新需要を取込み、官公庁、化学品製造業、プラント・エンジニアリング向けで販売が堅調に推移しました。

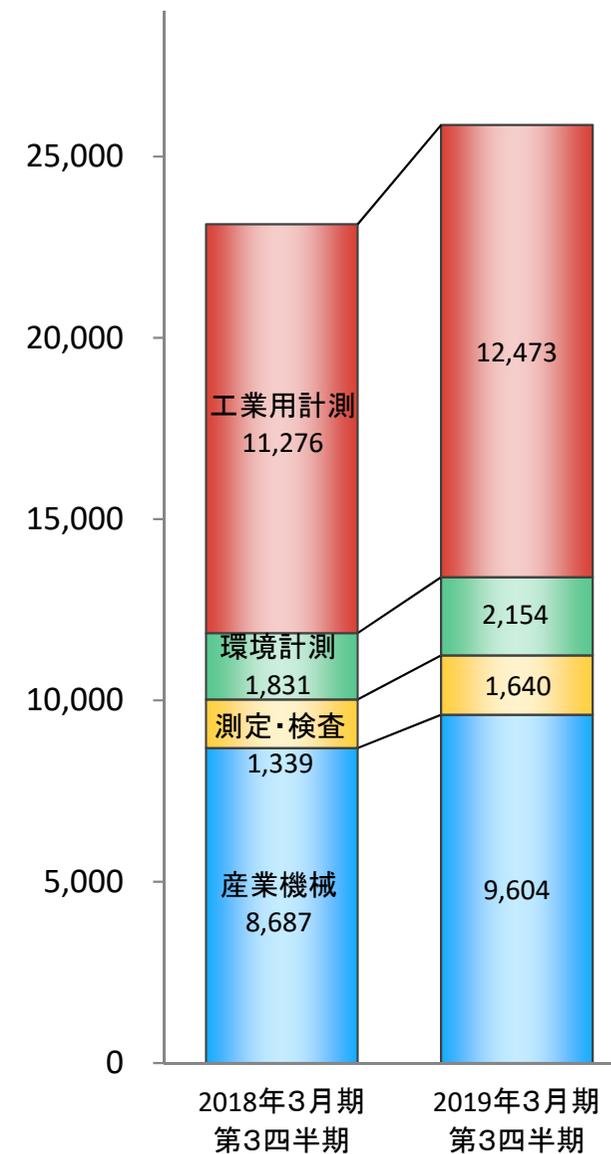
◆ 測定・検査機器

老朽化した生産設備の保守点検、維持管理に使用される保安メンテナンス機器の需要が堅調であった他、品質・信頼性の向上、トレーサビリティの強化に関連する検査機器の設備投資需要を取込んだ結果、自動車関連業界向けに精密測定機器の販売が好調に推移しました。

◆ 産業機械

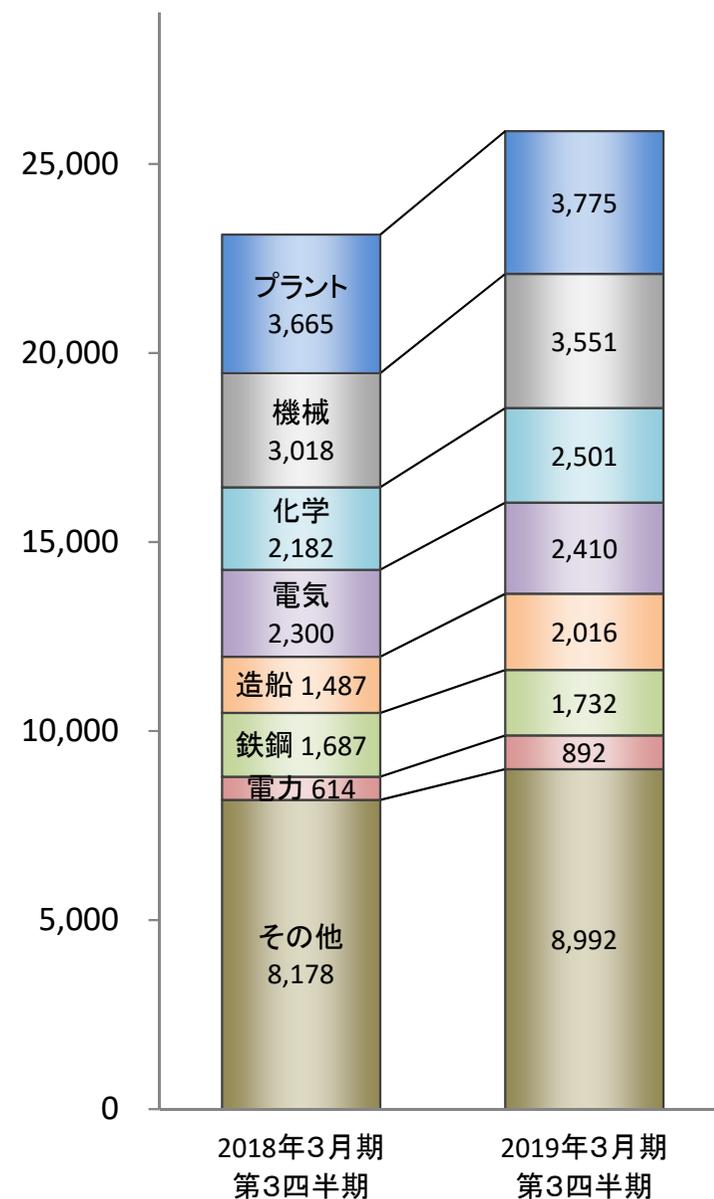
官公庁、建設業向けで、自然災害に対する防災や復旧に使用する産業車両の販売が堅調に推移しました。また、船用機器製造業向けバルブ、電力会社向け災害対策機器、機械製造業向け油圧機器、ポンプ類の販売が増加した他、鉄鋼製品製造業や輸送用機器製造業を中心に、安全性や生産性の向上、老朽化した設備に付帯する機器の更新需要が堅調に推移し、販売が増加しました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	前年 同四半期比	構成比
プラント	3,665	3,775	+ 3.0%	14.6%
機械	3,018	3,551	+ 17.7%	13.7%
化学	2,182	2,501	+ 14.7%	9.7%
電気	2,300	2,410	+ 4.8%	9.3%
造船	1,487	2,016	+ 35.5%	7.8%
鉄鋼・ 非鉄金属	1,687	1,732	+ 2.7%	6.7%
電力	614	892	+ 45.2%	3.4%
その他	8,178	8,992	+ 9.9%	34.8%
合計	23,135	25,873	+ 11.8%	100.0%

(単位:百万円)



連結貸借対照表

■自己資本比率：4.1ポイント増加し44.0%となりました。(2018/03時点39.9%)

資産

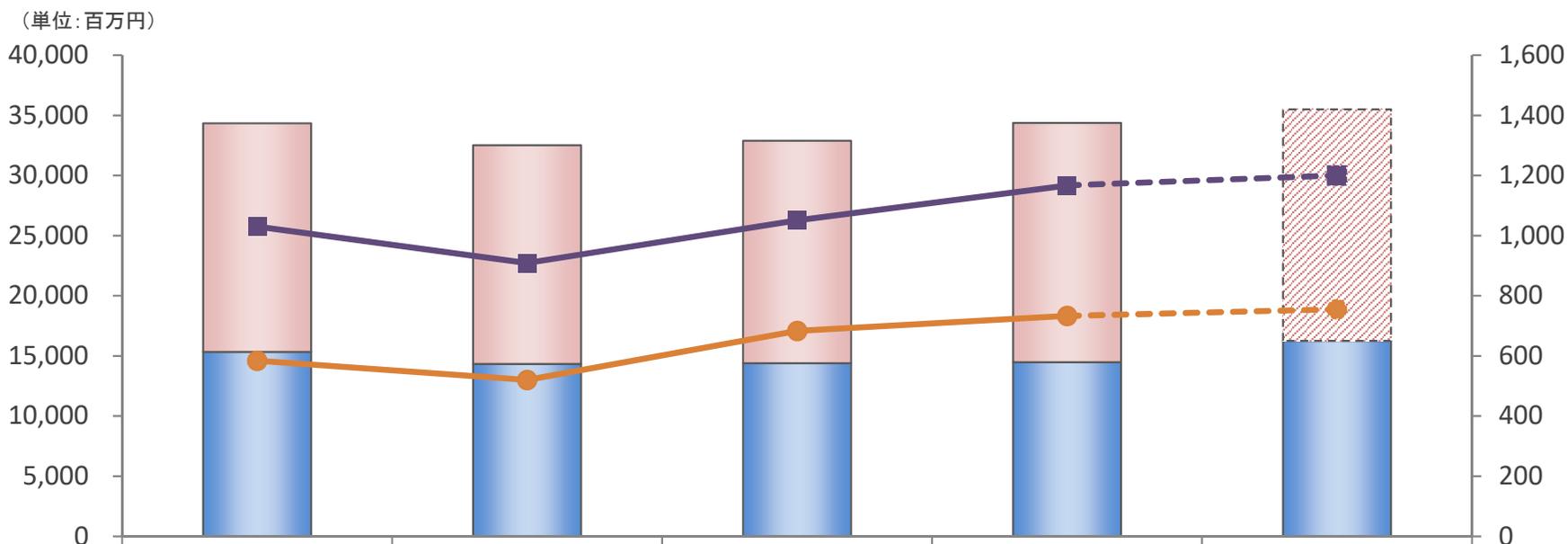
	2018/03	2018/12	増減額
流動資産	19,832	18,709	△ 1,123
現金及び預金	3,382	3,066	△ 315
受取手形及び売掛金	13,725	12,021	△ 1,704
電子記録債権	2,042	2,149	107
たな卸資産	565	1,139	574
その他	116	331	215
固定資産	3,579	3,279	△ 299
有形固定資産	1,424	1,409	△ 14
無形固定資産	51	33	△ 17
投資その他の資産合計	2,104	1,836	△ 267
その他	2,151	1,884	△ 267
貸倒引当金	△ 47	△ 47	0
資産合計	23,412	21,989	△ 1,423

負債及び純資産

(単位:百万円)

	2018/03	2018/12	増減額
流動負債	13,465	11,729	△ 1,735
支払手形及び買掛金	6,069	5,345	△ 724
電子記録債務	5,457	5,279	△ 178
短期借入金	-	50	50
1年内返済予定の長期借入金	768	370	△ 398
引当金	496	207	△ 288
その他	673	476	△ 196
固定負債	600	583	△ 16
長期借入金	100	100	0
引当金	24	25	0
退職給付に係る負債	299	289	△ 9
その他	176	168	△ 7
負債合計	14,065	12,313	△ 1,752
純資産	9,346	9,676	329
株主資本	9,057	9,506	448
その他の包括利益累計額	289	169	△ 119
その他有価証券評価差額金	169	64	△ 104
為替換算調整勘定	13	10	△ 3
その他	106	94	△ 11
負債純資産合計	23,412	21,989	△ 1,423

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。



(単位: 百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (見通し)
3~4Q売上高 (左軸)	19,001	18,178	18,490	19,888	19,248
1~2Q売上高 (左軸)	15,336	14,332	14,396	14,479	16,251
売上高	34,338	32,510	32,886	34,367	35,500
経常利益 (右軸)	1,030	909	1,051	1,167	1,200
親会社株主に帰属する当期純利益 (右軸)	584	520	683	733	755

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (目標)
ROE (株主資本利益率)	7.8%	6.6%	8.2%	8.1%	8.0%

本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL : 06-6539-4816

E-Mail : ir-info@eiwa-net.co.jp

URL : <https://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受ける為、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。